

とうきょう すくわくプログラム



最近の子ども達は、園庭での虫探しに夢中になっている姿があります。また、お花や葉っぱ、木の実、皮、枝、石等も遊びの対象になっています。そこで、今年度のつぼみ組では【自然】をテーマに探究活動を行っていきたいと思います。

つぼみ組（2歳児）（第1回目） 5月20日

【活動内容】『園庭に自然はあるかな？』

慣れ親しんでいる園庭で自然物を探してみました。お手製の牛乳パックで作ったバッグに思い思いの物を入れて、友だちや保育士に見せていました。

【活動の為に準備した素材や道具・環境設定】

手作り牛乳パックバッグ

【子ども達の姿と発見】

- お手製バッグを渡されると、笑顔で園庭中を探索し色々な物を見つけしていました。砂を入れた子から「このすな、つめたいよ」という声が上がったので「どこの砂を持ってきたの？」と聞くと「あっち」と日陰を指さしました。そこで保育士が「私はこっち（日向）の砂にしようかな」と言うと、先に触り「あったかいね」と1言。砂の温度の違いに気付く様子が見られました。
- 複数の石を見つけて指でこすって感触を味わったり、色の違いに気付いたりする姿も見られました。
- 虫を捕まえた子は、バッグに小さい葉っぱを入れて「たべるかな～」と観察。全く食べなかったもので、違う葉っぱや枝、実を入れていました。結局何も食べてはくれませんでした。虫のことを色々と考えながら模索する姿が見られました。
- ダンゴムシを捕まえて、ひととおり観察した後、園庭の“虫のお家”に逃がしました。ダンゴムシを探す時に「葉っぱの下にいるからね」と伝えているので、逃がした後もしっかりと葉っぱを乗せていました。葉っぱをお布団に見立てて「ねんね～」と言ってお別れをする子もいました。

※今回は、【温度や色、感触の違い】に気づき興味を持った子が多かったため次回は、色々な物の温度や色、感触の違いが感じられるような活動をしていきたいと思います。

